

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15045

生活保護事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	1	生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の適正な実施

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生活支援第1課	大伴 祐貴子	435-1205
事業実施の根拠法令	生活保護法		関連課	生活支援第2課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	困窮のため最低限度の生活を維持することのできないものに対し、適正な保護を行う。		生活保護法の施行に伴う必要な行政事務費。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	生活困窮者に対し、経済的援助や自立支援を行い、適正な生活保護事業を実施する。	生活困窮者に対し、経済的援助や自立支援を行い、適正な生活保護事業を実施する。	生活困窮者に対し、経済的援助や自立支援を行い、適正な生活保護事業を実施する。	生活困窮者に対し、経済的援助や自立支援を行い、適正な生活保護事業を実施する。	生活困窮者に対し、経済的援助や自立支援を行い、適正な生活保護事業を実施する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	54,201	59,221	53,502	53,627	53,884	48,893	54,605	0	54,605	0	
伸び率(%)	△16.8%	△6.3%	△1.3%	△9.4%	0.7%	△8.8%	1.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	76,916	76,916	69,588	71,181	72,994	75,476	74,778	0	74,778	0
	正規職員以外	16,638	16,638	11,742	11,742	13,148	14,379	15,522	0	10,595	0
	小計	93,554	93,554	81,330	82,923	86,142	89,855	90,300	0	85,373	0
国庫支出金	5,421	9,446	6,968	7,615	8,082	7,940	8,190	0	8,190	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	1,000	700	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	
一般財源(税等)	47,779	49,074	46,533	46,011	45,801	40,952	46,414	0	46,414	0	
所要人数(人)	正規職員	9.55	9.55	8.74	8.94	9.41	9.73	9.64	0.00	9.64	0.00
	正規職員以外	6.12	6.12	5.06	5.06	4.92	5.16	5.82	0.00	4.86	0.00
主な予算内訳	消耗品費 2,449千円 通信運搬費 9,463千円 など										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
申請件数		件	目標値	1000	1000	1000	1000	1000
			実績値	727	846	803		
			達成度(%)	72.7%	84.6%	80.3%	%	%
経済的自立件数		件	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	167	128	107		
			達成度(%)	167%	128%	112%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○ 負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	国の制度改正がないかぎり、現状のまま継続。
見直し・改善内容	適切な生活保護制度の実施に努め、自立に向けた支援を行う。